

本日、教務主任の酒井先生が、厚生労働省製作のDVD及びプレゼンテーションソフトを活用し、第6学年1組、2組で「薬物乱用防止教室」の授業を行いました。



子どもたちは、授業のはじめに、「薬」からイメージすることを自由に出し、「薬」は、怪我や病気など通常より悪い身体の状態を治すものであり、通常の状態より「元気になる」「いい気持ちになる」「勉強がはかどる」ような「薬」はないことを学びました。

その上で、DVDとプレゼンテーションソフトでは、主に以下のことを学びました。

◆正常な脳の働き

- ・物を「色」「表面の状態」「匂い」など様々な情報を統合して認識することをはじめ「記憶」「考える」「予測する」「笑うなどの感情」など様々な働きをしていること

◆「薬物」を1回でも使用すると、「乱用」になること



◆「薬物」の種類: 覚醒剤、大麻、・・・など



◆「薬物」を使用すると、脳が正常に働かず、以下のようなことが起こること

- ・【運動面】思い通りに身体を動かすことができない。
- ・【記憶】物事を正しく認識できない。
- ・【性格】ルールを守れなくなる。人のことはどうでもよくなる。

- ・「息をしろ」という脳の指令→「過呼吸」
- ・「心臓を動かせ」という脳の指令→ひどい「動悸」が起こる。
- ・「幻覚」:「過去」(ミミズを見た記憶)と「現実」(手を見ている)の区別がつかない。  
→手に多くのミミズがまとわりついて見える。



- ・「妄想」:誰かが落とし入れようとしている。監視されている。



◆「薬物」乱用は、自分を傷つけるだけでなく、家族を悲しめたり、友達を傷つけたりしてまう。

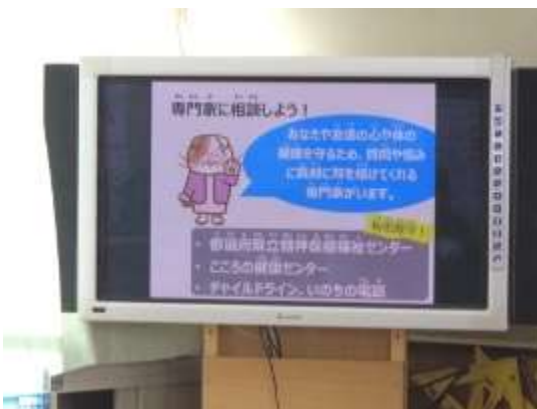
◆「薬物」を勧められたらどうしたらよいのか？

もし、進める人が「先輩」など断りにくい人であったら・・・？ 断りにくい。

自分のことを本当に大切に思っている人かどうかを考える。

※進める人:自分のことを大切に思っている人ではない。お金が目当てである。

→興味がないことを伝えたり、1回だけでも禁止されていることを伝えたりして、「ハッキリ」「キッパリ」断る。できるだけ早くその場を離れる。信頼できる人に相談する。「チャイルドライン」「いのちの電話」等の専門家への電話相談



以上のようなことを学んだ後、以下の「大切な自分を守る5つのポイント」を考え、学習後の「振り返り」を行い授業を終えました。

【大切な自分を守る5つのポイント】

「人を悲しませる」

- 1 自分が大切に思う人は？大切に思う人のことを思い浮かべる  
家族・好きな人・友達・先生など

2 自分のことを大切に思ってくれる人は？

家族・友達・先生など

「楽しみ・将来が奪われる」

3 自分が好きなもの・こと

スポーツ、アニメ、ゲーム等々

4 これからやりたいこと・将来の夢

家族旅行、プロサッカー選手、パイロット、漫画家等々

「健康・命を奪われる」

5 「薬物」についての正しい知識


今日の「薬物乱用防止教室」は、子どもたちの「健康、命を脅かす」「幸せな将来を壊す」「大切な人を悲しませる」などのことが無いようにするための大切な学習でした。

ご家庭でも、「薬物乱用防止」について話題にしていいただければ幸いです。

16:45

2021/06/29

第5学年音楽「音の重なりを感じ取ろう」の学習から

 | by [宇治田原町立宇治田原小学校サイト](https://www.uwada-harashira-hs.jp/)

第5学年音楽科では、宇治田原町小中一貫教育推進の一環として、維孝館中学校音楽科 山崎 智治 先生に来ていただいて学習を進めています。



学習が始まる前、山崎先生にピアノを

演奏してもらおう子どもたち

今日は、題材「音の重なりを感じ取ろう」の中の「鑑賞」の学習で、鑑賞曲はモーツァルト作曲の♪アイネ クライネ ナハトムジーク♪でした。

♪アイネ クライネ ナハトムジーク♪は、バイオリン、ビオラ、チェロ、コントラバスの弦楽合奏。曲の構成は、「全て同じ旋律を演奏する部分」「主な旋律と伴奏を重ねて演奏する部分」「たがいに呼びかけ合うように演奏する部分」の3つからなります。

鑑賞する前に、山崎先生の解説とともに、バイオリン、ビオラ、チェロ、コントラバスそれぞれの音色を聴きました。



#### バイオリンとピオラの音色の違いの

#### 解説を聞く子どもたち

山崎先生の解説によると、チェロの音の高さは人間の声の高さに近いそうです。また、コントラバスの低音はお腹に響くという説明も受けました。

このような説明を受けることで、バイオリン、ピオラ、チェロ、コントラバスの音色をしっかりと感じ取りながら落ち着いて聴き取る子どもたちの様子が見られました。

♪アイネ クライネ ナハトムジーク♪についても、「全て同じ旋律を演奏する部分」「主な旋律と伴奏を重ねて演奏する部分」「たがいに呼びかけ合うように演奏する部分」の3つを順番に説明を受けながら聴きました。



#### 聴いた曲の部分が3つの部分のどれか

#### 手を上げて答える子どもたち

そして、最後に曲全体を通して鑑賞。どの子も、心を落ち着けて4つの弦楽器の音の重なりとともに「全て同じ旋律を演奏する部分」「主な旋律と伴奏を重ねて演奏する部分」「たがいに呼びかけ合うように演奏する部分」を感じ取りながら鑑賞していました。

17:05

2021/06/29

[第5学年国語科「同じ読み方の漢字」の学習から](#)



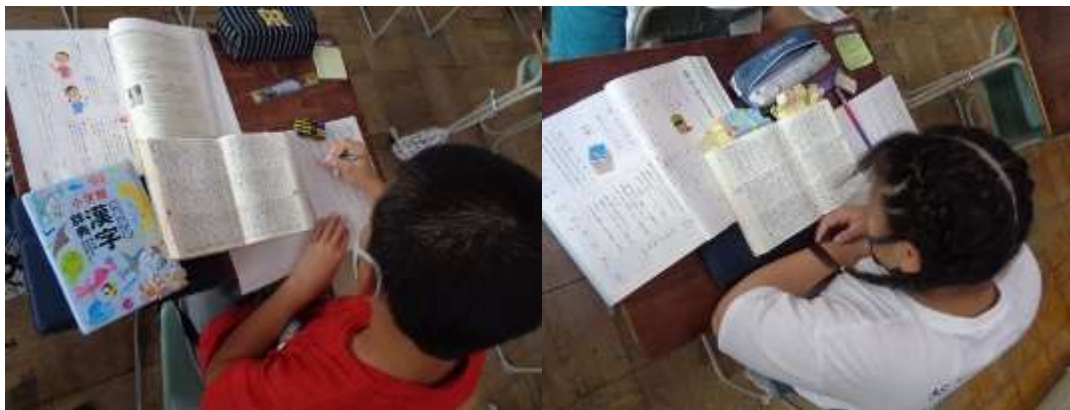
| by 宇治田原町立宇治田原小学校サイト管

第5学年国語科では、配当時間は2時間と少ないですが、以下の目標で「同じ読み方の漢字」の学習を行います。

#### 【目標】

進んで同じ読み方の漢字の使い分けに関心を持ち、学習課題に沿って、それらを理解しようとする  
ことができる。

今日、5年2組の教室に行きますと、国語辞典を片手に調べ学習をしているので様子を見ますと、国語辞典を使って「同じか読み方の漢字」を調べ、その漢字を使った熟語とその熟語を使った文章をノートに書き出していました。



国語辞典を引いて「同じ読み方の漢字」を調べる子どもたち

国語辞典は、第3学年で購入し、国語科の学習でその使い方を学習します。調べる様子を見ていますと、中には国語辞典で調べた言葉のページに付箋がたくさん貼ってある子どももいました。その子は、付箋の数以上に国語辞典を使っていることになります。

デジタル化、ICT活用も大切ですが、辞典を引いて調べることも大切にしなければいけません。

授業の終わりには、調べて書き出した「同じ読み方の漢字」とその熟語や文章を互いに交流し学習を広げていました。





国語辞典で調べた「同じ読み方の漢字」と、  
その漢字を使った「熟語」「文章」を交流する子どもたち

15:53

2021/06/28

第3学年理科「風とゴムの力のはたらき」の学習か  
ら

  | by 宇治田原町立宇治田原小学校サイ

第3学年理科「風とゴムの力のはたらき」では、以下の目標で学習します。

#### 【目標】

風やゴムで動くものをつくったり動かしたりする活動を通して、風やゴムの力をはたらかせたときの現象の違いを比較する能力を育てるとともに、風やゴムの力でものを動かせることの理解を図り、風やゴムのはたらきについての考えを持つことができるようにする。

今日、3年1組が「ゴムの力のはたらき」について、教室で実験方法や実験結果の予想を立てた後、体育館に移動し以下の内容で実験を行いました。

①輪ゴムを5cm伸ばして離れたときの模型の車の走る距離(○m△cm)



①輪ゴムを5 cm伸ばして離したとき

②輪ゴムを10 cm伸ばして離したときの模型の車の走る距離 (○m△cm)



②輪ゴムを10 cm伸ばして離したとき

③輪ゴムを15 cm伸ばして離したときの模型の車の走る距離 (○m△cm)



③輪ゴムを15 cm伸ばして離したとき

①②③と、伸ばす長さが違う輪ゴムを離したときに働く力で模型の車が走る距離の違いを比較する実験でしたが、どの子も結果がどうなるか予想をもとに興味津々に実験を行っていました。

2021/06/28

算数科における学習導入時の「アップ」の取組について

  | by [宇治田原町立宇治田原小学校サイト](http://www.city.uzumaki.lg.jp/school/uzumaki-hs/)

本校では、算数科において1時間の授業の導入時に、約5分を使って、その学年の学習課題に応じた計算等の練習を「アップ」と名付けて行っています。

今日、1年の教室では、10までの数を使った「引き算」の問題30問を以下の要領でペアになって行っていました。

①ペアのどちらか一人が答え付きのプリントを持ち、問題を言う。

- ②ペアのもう一人が口答する。
- ③一人が終わったら、解答する人を交代し行う。



「アップ」の様子1



「アップ」の様子2

算数の学習のはじめに、その時の課題に合わせた計算等の練習を行い、脳を活性化させてから本題の学習に入っていきます。

15:29

2021/06/25 [第4学年理科「夏の夜空」の学習から](#)

  | by [宇治田原町立宇治田原小学校サイト管理者](#)

第4学年理科「夏の夜空」では、以下のことを目標に学習をします。

#### 【目標】

星を観察して、空には明るさや色が違う星があるという考えを持つことができるよう

にするとともに、星に対して興味・関心を持ち、夜空に輝く無数の星に対する豊かな 心情を育てる。

今日、4年1組の教室では、「夏の星座」について星座を形どる星の明るさや色、見える方角などをグループで協力し合って調べる学習を行っていました。

子どもたちの様子を見ますと、タブレット上のインターネットや図鑑等の図書から得た情報をグループで共有しノートに書き出していました。



調べ学習の様子



タブレット上のインターネットで得た情報を

ノートに書き出す子

図鑑等の図書は、一冊をグループ全員で同時に見ることが難しいので、タブレットのカメラ機能で撮影しタブレット上で同じ箇所の情報を得るという工夫をしているグループもありました。



図書を使って調べる子



同じグループの子の図書を写真に撮って調べる子

どの子も、タブレット上のインターネットや図鑑等の図書を活用し一生懸命に調べ学習に取り組んでいました。

16:58

2021/06/24

### 第2学年体育科 タブレットを活用した「マット遊び」の学習から

by 宇治田原町立宇治田原小学校サイ  
ト管理者

第2学年体育科では、「器械・器具を使つての運動遊び」の中で「マット遊び」の学習を行います。「マット遊び」の目標は、以下のとおり。

【目標】 いろいろな方向へ転がり、手で支えての体の保持や回転をすること

今日、2年1組が体育館で「マット遊び」の学習を行っていました。

準備体操を終えた後、担任の東先生が今日の学習のめあてとタブレットのビデオ撮影機能を説明（子どもたちは、すでに違う学習でビデオ撮影機能を活用しています。）。



ビデオ撮影機能の使い方を説明・確認する東先生

その後、子どもたちは、ペアになって、タブレットのビデオ撮影機能を使い、交代で「前回り」と「後ろ回り」の様子を横からと前から撮影。





その後、ビデオ撮りした映像を見て「手でしっかり体を支えられているか」「スムーズな回転ができているか」など、気を付けなければいけないところを確かめて、直すところを意識して次の練習を行っていました。



タブレットに記録した動画で

「前回り」の動きを確かめる2年生

「マット遊び」「マット運動」等でのタブレットのビデオ撮影機能活用は、自己の体の動きを目で見て確認し、課題を意識して次の学習に活かすことができる点で効果があります。

16:39

2021/06/23

### 第5学年図画工作科「桜の葉と木を絵に表そう」の学習から

  | by [宇治田原町立宇治田原小学校サイト管理者](#)

第5学年図画工作科では、今、緑を濃くした葉が生い茂る「桜の木」を、「桜の葉とそれを持つ手」を前景（手前）に桜の木を遠景（奥）にして絵を描く学習を進めています。

数日前に、授業を見に行った時には、5年生は一枚の桜の葉とその葉を持つ手をスケッチしていました。この後、どのような学習展開になるのか楽しみにしていたのですが、今日の授業でそれが分かりました。

スケッチをしていた成果が出ていて、桜の葉の特徴とそれを持つ手が上手に描けていました。その奥には桜の幹と枝の下絵が描かれていました。

今日の学習のめあては、「木の色を作って、丸みが出るようにぬろう。」です。

あらかじめ、担任の先生が彩色する際の筆の動きをビデオ撮りしておいたものを、早回しで再生し筆遣いを理解させていました。



学習に取り組む様子

電子黒板を使って早回し再生で  
幹の彩色の仕方を説明する小西先生



桜の木の幹を彩色する様子1



桜の木の幹を彩色する様子2

子どもたちは、丁寧に描き上げてきた作品をよりよいものにしようと、彩色に集中していました。

17:12

2021/06/23 [1年生による「朝のあいさつ」活動から](#)

  | by [宇治田原町立宇治田原小学校サイト管理者](#)

先週、児童会本部の取組「あいさつでスマイルプロジェクト」が終了しましたが、あいさつリーダーが「おはようございます。」と、挨拶する姿に憧れを持った1年生が、「朝のあいさつ」の活動を行いたいという意見を出し、係活動の一つとして行うことになりました。

昨日から「朝のあいさつ」活動が始まりましたので、その様子を写真で紹介します。



1年生による「あいさつ」活動の様子

15:31

2021/06/22 [第6学年国語科「夏のさかり」の学習から](#)

  | by [宇治田原町立宇治田原小学校サイト管理者](#)

国語科の学習では、どの学年も各季節2時間程度の扱いで「春」「夏」「秋」「冬」と季節を表す言葉を使った表現活動をする学習があります。

今日、6年1組の教室に行きますと「夏のさかり」という題材で、以下のめあてで学習をしていました。

【めあて】「夏の言葉を使って、詩や俳句、短歌などをつくってみよう。」

担任の濱野先生が、この時間の学習の「めあて」を子どもたちに伝えるとともに、「夏」から思いつくことを

子どもたちに自由に出させ、その後、事前に用意していた夏をテーマとした詩と画像による作品をいくつか提示し、子どもたちに「夏さかり」を大きなテーマとした作品作りのイメージを持たせました。



作品のイメージ作り

そして、タブレットを活用した学習の進め方を黒板で確認し学習の見通しを持たせました。



学習のめあてと

タブレットによるがくしゅうの進め方の確認

それ以降は、子どもたち一人一人がタブレット上で、自分が書き表したい内容をシートにタイピングして入力するとともに、書き表した内容に合った画像を選び作品を創り上げていきました。



「花火大会」で夏を表現



「風鈴」で夏を表現



「麦茶」で夏を表現

第1学年の体育科「マット遊び」では、「マットを使っていろいろな遊びをする。」という目標の下、学習を進めます。

この学習は、マット運動における「前転」など基本的な技の学習に向けて、身体のさまざまな動かし方を習得するものです。

マット遊びには、「ゆりかご」「だるま回り」「前転がり」「丸太転がり」等があります。

## 【ゆりかご】(回転感覚)



フリーイラストより

今日、体育館では、1年生が1, 2組合同で「マット遊び」の学習をしていました。「マット遊び」の学習も後半に入ってきているようで、さまざまな動きのあるマット遊びを終えた後、「前転」の前段階である「前回り」の練習をしていました。

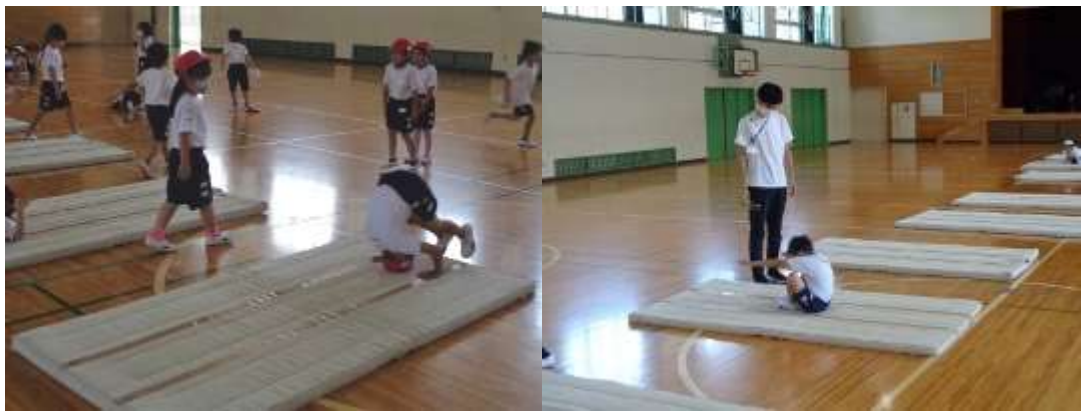
今までの学習を生かして、全員が一度「前回り」をしました。すると、回転する場面での身体の伸び等が目立ちスムーズに立つことができない様子が見受けられたので、『「ゆりかご」の練習』と『「ゆりかご」から立つ練習』を行いました。



「ゆりかご」から立つ練習

「ゆりかご」の動きを頭に入れて「前回り」

そして、その後、もう一度「前回り」を行うと、多くの子どもたちがスムーズな「前回り」を行うことができようになりました。



身体が伸びずに上手に「前回り」ができました

「前回り」という一連の動きの一部を取り出して「身体の動き」を学ぶことが大切です。